

## 武蔵野市民科カリキュラム作成委員会（第1回）

■日時：平成29年10月12日（木）午後3時～午後4時45分

■場所：市役所教育委員会室

### 次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育委員会挨拶
- 4 委員自己紹介
- 5 事務局自己紹介
- 6 議事
  - (1) 委員長及び副委員長について
  - (2) 委員会の運営案について
  - (3) 委員会の検討事項について
  - (4) 検討スケジュール案について
  - (5) 武蔵野市民科の目的について
- 7 その他
- 8 閉会

武蔵野市民科カリキュラム作成委員会委員名簿

分野	委員名	所属
学識経験者(1)	有村 久春	東京聖栄大学健康栄養学部管理栄養学科教授
武蔵野市立小中学校長会を代表する者(1)	宮崎 倉太郎	武蔵野市立境南小学校長
武蔵野市立小中学校副校長会を代表する者(1)	清水 大史	武蔵野市立第五中学校副校長
武蔵野市立の小学校及び中学校の教員(3)	落合 大輔	武蔵野市立第一小学校主幹教諭
	藤間 研吾	武蔵野市立第三小学校主幹教諭
	藤井 恵嗣	武蔵野市立第四中学校主任教諭
保護者を代表する者(1)	新島 有紀	武蔵野市立第四中学校
地域を代表する者(1)	高木 須磨子	青少年問題協議会 本宿地区前委員長
行政(3)	竹内 道則	武蔵野市教育部長
	秋山 美栄子	教育部指導課長
	木下 雅雄	教育部統括指導主事

## 武蔵野市民科カリキュラム作成委員会の運営について（案）

### 1 会議を公開することについて

作成委員会は原則として公開します。ただし、作成委員会委員の合意により非公開とすることができます。

### 2 傍聴要領について

傍聴のルールは別紙（「武蔵野市民科カリキュラム作成委員会傍聴要領」）のとおりです。

### 3 会議要録について

会議要録を作成し、市のホームページに掲載します。

（掲載内容…日時、場所、出席者、議事、発言者（委員名は非公開）、発言内容）

### 4 会議の時間について

会議の時間については、原則として2時間以内とします。ただし、委員の合意を得て、延長することができます。

### 5 会議の連絡について

事務局から委員の皆様への連絡手段は、原則としてメールとし、メールに添付できない資料をお送りする場合や、至急の場合にのみ電話・ファックス・郵送・交換便等を使用します。

なお、皆様から事務局へご連絡をいただく場合は、メールに限定するものではありません。

## 武蔵野市民科カリキュラム作成委員会傍聴要領

### (目的)

第1条 この要領は、武蔵野市民科カリキュラム作成委員会（以下「委員会」という。）の会議の傍聴に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

### (傍聴人の定数)

第2条 傍聴人の定数は原則として10人とする。

### (傍聴の手続)

第3条 委員会の会議を傍聴しようとする者は、会議の開催当日に自己の住所及び氏名を傍聴人受付簿に記入しなければならない。

### (傍聴席以外の入場禁止)

第4条 傍聴人は、傍聴席以外に入ることができない。

### (傍聴席に入ることができない者)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 銃器、火薬その他危険物を持っている者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) ラジオ、拡声器、マイクその他会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められるものを所持している者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、委員会が、職務執行上支障があると認める者

### (傍聴人の守るべき事項)

第6条 傍聴人は、傍聴席にあるときは、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 静粛を旨とし、騒ぎ立てる等議事の妨害となるような行為をしないこと。
- (2) 会議における言論に対して、拍手その他の方法により、公然と可否を表明しないこと。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、会議の秩序を乱し、又は妨害となるような行為をしないこと。

### (写真、映画等の撮影及び録音等の禁止)

第7条 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に委員会の許可を得た者は、この限りでない。

### (傍聴人の退場)

第8条 傍聴人は、委員会の会議を非公開とする委員会の議決があったときは、速やかに退場しなければならない。

### (係員の指示)

第9条 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

### (違反に対する措置)

第10条 傍聴人がこの要領の規定に違反したときは、委員会の委員長等はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

### 付 則

この要領は、平成29年10月12日から施行する。

武蔵野市民科作成委員会検討スケジュール(案)

特設教科 武蔵野市民科カリキュラム作成委員会(平成29年度予定)

1年目の目標<武蔵野市民科の方向性の確定>

	日程	場所	検討内容
第1回	10月12日(木)15:00~16:45	武蔵野市役所 教育委員会室	・特設教科 武蔵野市民科の必要性について
第2回	11月14日(火)15:00~16:45		・特設教科 武蔵野市民科の目標・教育課程上の位置付けについて
第3回	12月27日(水)10:00~12:00		・特設教科 武蔵野市民科の目標・教育課程上の位置付けについて ・市民科の学習内容と指導上の留意点
第4回	1月中・下旬15:00~16:45	武蔵野市役所	・市民科の学習内容と指導上の留意点 ・小中連携教育研究協力校の報告について
第5回	2月上旬15:00~16:45		・中間経過報告案検討 ・次年度の計画検討
備考	・可能であれば小中連携教育研究協力校(境南小学校・第五中学校)への視察を2学期か3学期に行う。		

武蔵野市民科カリキュラム作成委員会(平成30年度予定)

2年目の目標<モデルカリキュラムの確定>

	日程	場所	検討内容
第1回	5月上旬 15:00~16:45	武蔵野市役所	・武蔵野市民科の目的、目標、指導上の留意点の確認 ・武蔵野市民科のモデルカリキュラムの提案
第2回	6~7月 13:30~14:30(授業視察) 14:40~16:45(会議)	小中連携教育 研究協力校	・小中連携教育研究協力校による授業提案 ・モデルカリキュラムの検討
第3、4回	7~8月13:30~16:45	武蔵野市役所	・各学年のモデルカリキュラムについて、分科会に分かれて検討 (小中連携研究協力校の教員にも参加してもらい、助言をもらう)
第4回	10~11月 13:30~14:30(授業視察) 14:40~16:45(会議)	小中連携教育 研究協力校	・小中連携教育研究協力校による授業提案 ・モデルカリキュラムの検討
第5回	12月下旬~1月中旬 15:00~16:45	武蔵野市役所	・武蔵野市民科のモデルカリキュラムの完成

平成29年10月12日  
武蔵野市民科カリキュラム  
作成委員会（第1回）  
資料5

# 武蔵野市民科カリキュラム 作成委員会（第1回） 事務局説明資料

平成29年10月12日（木）

# ～目次～

## 1. 武蔵野市民科の必要性

- (1) 市民性（シティズンシップ）とは何か・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 市民性を高める教育がなぜ今、求められるのか・・・・・・・・・・ 3
- (3) 市民性の育成に関する武蔵野市の現状（市政・地域・学校・子ども）・・ 4

## 2. 武蔵野市民科の目標

- (1) 武蔵野市民科の目標（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
- (2) 武蔵野市民科で育みたい資質・能力（たたき台）・・・・・・・・・・ 1 2

## 3. 武蔵野市民科の方向性

- (1) 教育課程上の位置付けと学習の進め方（素案）・・・・・・・・・・ 1 3
- (2) 教育課程上の位置付けと学習の進め方（例）・・・・・・・・・・ 1 4
- (3) 小中一貫教育との関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5

# 1. 武蔵野市民科の必要性

## (1) 市民性（シティズンシップ）とは何か

市民＝《citizen》近代社会を構成する自立的個人で、政治参加の主体となる者。公民（大辞泉より）

社会の一員として自立し、権利と義務の行使により、社会に積極的に関わろうとする態度等



社会形成・社会参加に関する教育  
（平成22年7月内閣府「子ども・若者ビジョン」より）

（中略）社会において個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現のために、（中略）個人の権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わろうとする資質

（平成18年7月経済産業省「シティズンシップ教育宣言」より）

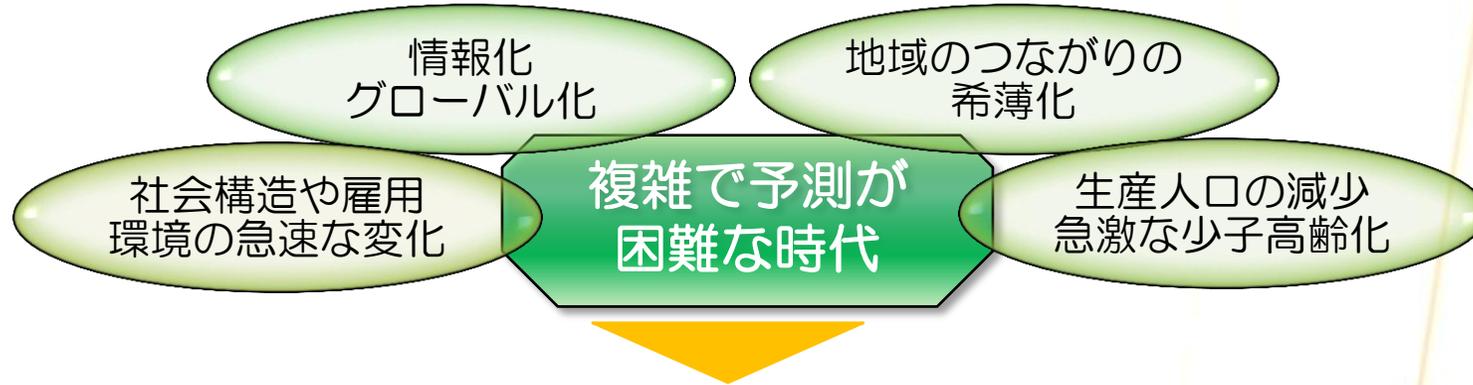
社会を構成する一員としての主体的な生き方に関わる教育（いわゆるシティズンシップ教育）等の充実の観点からも、（中略）家庭や地域との連携を強化することが重要である。

（平成26年10月中央教育審議会「道徳に係る教育課程の改善について」より）

**市民性＝社会の一員として、  
よりよい地域、社会づくりに参画していく資質・能力**

# 1. 武蔵野市民科の必要性

## (2) 市民性を高める教育がなぜ今、求められるのか



**<子どもたちに身に付けさせたい力>**  
**社会の変化や課題に対し、主体的に向き合い、**  
**他者と協働し、よりよい地域、社会、幸福な人生の創り手となる力**



### カリキュラムマネジメントの3つの側面

- ・教育の目的、目標の実現に向けて教育内容を教科横断的に組み立てていくこと
- ・教育課程の実施状況を評価して、その改善を図ること
- ・教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保・改善を図ること

# 1. 武蔵野市民科の必要性

武蔵野市HP、むさしのキッズページより

## (3) ー①武蔵野市における市民参加の現状

### ○緑豊かなスマートシティへ

本市は、施策の計画・展開にあたって、早くから市民参加を掲げ、先駆的に取り組んできました。

高い市民意識に基づいて策定された長期計画（中略）は、豊かな財政力に支えられて着実に実行され、緑豊かな住宅都市と教育・福祉・健康・文化・スポーツ・情報などの生活型の産業が高度に集積して、調和した「生活核都市」として発展し、住んでみたい街としてそのイメージが定着しています。

### ○取組例

- ・長期計画策定時の市民ワークショップ
- ・ごみゼロデー市内三駅周辺一斉清掃
- ・市民からの手紙がきっかけでできた全国初のコミュニティバスであるムーバス（平成7年～）
- ・小中学生を対象に様々な体験活動を実施している土曜学校（平成15年～）

# 1. 武蔵野市民科の必要性

## (3) ②市民性を育む地域との連携について

### ○青少協（青少年問題協議会）について

市立小学校の12の学区ごとに青少年問題協議会地区委員会が設置され、青少年の健全育成のため様々な活動に取り組む。

～活動例～

- ・むさしのジャンボリー
- ・美化活動
- ・地域パトロール
- ・どんど焼き
- ・地域運動会など

### ○地域コーディネーター

青少年問題協議会等の協力を得て、地域の人材発掘や交渉・調整等を行う地域の方。校長が推薦し、市教育委員会で委嘱する。

～取組例～

- ・オリンピック・パラリンピック教育と関連させ、「世界ともだちプロジェクト」でルーマニア出身の方を紹介いただいた他、箏や茶道など伝統文化に関する指導者を学校に紹介。
- ・中学年の地域安全マップづくりにおいて、児童の引率、児童へのアドバイス、地域を知る方を推薦。
- ・中学校職場体験について他校との連携や協力先の店舗を紹介。
- ・各種の検定（漢検、英検、数検）や学習支援教室のコーディネーター。

### ○「地域の教育力」予算

地域と連携した教育実践をとおして、児童・生徒に確かな学力や豊かな人間性を身に付けさせるための学校裁量予算である。

～取組例～

- ・どんぐり工作研究会...どんぐりの様々な遊びを紹介し、体験活動の実施。
- ・武蔵野うどんづくり...郷土料理作り体験に関する学習活動の実施。
- ・おはなしメルヘン...おはなし会（読み聞かせ、語り）の実施。
- ・むさしのばやし保存会...お囃子演奏、児童によるお囃子体験の実施。
- ・大東京和服裁縫教師会...ゆかたの着装や和服の文化の学習活動の実施。

### ○中学校職場体験

中学2年生が地域の商店や民間企業等で実際に仕事を体験することにより、望ましい勤労観、職業観を育成するもの。武蔵野市は現在、中学校全校が3日間の日程で行っている。

～主な職場体験先〈平成28年度〉～

- ・ローソン吉祥寺北町・ファミリーマート武蔵境二丁目
- ・小田急バス株式会社・ふじの実保育園・風の子保育室・すみれ保育室
- ・武蔵野市役所・武蔵野給食センター
- ・美容室 サイエgreen hair
- ・資生堂 カメリア美容室・ヘアサロンアキ・ヘアサロンH2
- ・イトーヨーカドー武蔵境・サミット武蔵野緑町店・いなげや
- ・特別養護老人ホーム親の家・境南中央整骨院・放送：FM武蔵野
- ・㈱ライフコーポレーションライフ吉祥寺駅南店・武蔵境中央整骨院 等

### その他

民生児童委員、コミュニティセンター、地域福祉活動推進地域協議会、自主防災組織（避難者運営組織を含む）などとの連携も行っている。

# 1. 武蔵野市民科の必要性

## (3) ー③市民性を育む学校の取組について

### ○小学校の事例「地域における交流」

4年生の児童が地域の介護老人ホームである福祉施設を七夕の時期に訪問した。入居者に喜んでいただくためにあらかじめ自分たちで考えた歌やリコーダーの演奏、踊り等を披露した。高齢者と話をする時間も設け、相互のコミュニケーションを図った。

児童からは「みんなで協力して交流会の企画を考えることで、地域のお年寄りの方に楽しんでいただくことができた」「武蔵野市の福祉の課題が分かった」「自分たちでできることを考えることができた」といった感想が聞かれた。

### ○中学校の事例①「地域や関連機関と連携した防災訓練」

市防災課、消防署・消防団、地域ボランティアと連携し、けが人搬送訓練や消火訓練などを実施した。災害時における自分たちの役割や責任を自覚するとともに、社会連帯の重要性について考える機会となった。

生徒からは「地域の一員としての災害時に自分が進んで関わることの大切さが分かった」「災害に備えて普段からできることを学ぶことができた」といった感想が聞かれた。

地域からも「地域の担い手として中学生は頼りになると感じた」といった感想が聞かれた。

# 1. 武蔵野市民科の必要性

## (3) ー③市民性に関する学校の取組について

### ○中学校の事例②「武蔵野市改造計画—ズバリ市長に提言—」

3年生が「武蔵野市の50年後 未来のランドデザイン」をテーマに学習活動を積み重ね、道徳授業地区公開講座を活用し、市長をゲストに招き、これまでの成果をポスターセッション形式で紹介した。

その後、生徒がタウンミーティング形式で、「武蔵野市改造計画」について市長へ提言した。

提言内容は環境、地域経済、街づくり、福祉、国際理解などについて。

その中でベビーカー貸出しサービス事業が提案され、「ベビ吉」として吉祥寺駅周辺で誰でも自由に利用できる無料サービスとして運用されている。

「ベビ吉」は、各事業者の協力のもと順次貸出場所を増設し、現在までに5カ所、計19台が稼働している。



# 1. 武蔵野市民科の必要性

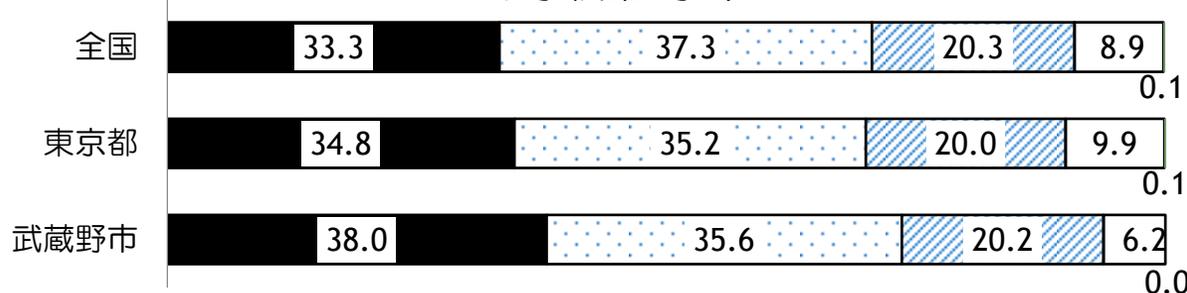
「平成28年度全国学力・学習状況調査」の結果より

## (3) ④市民性に関する子どもの現状について

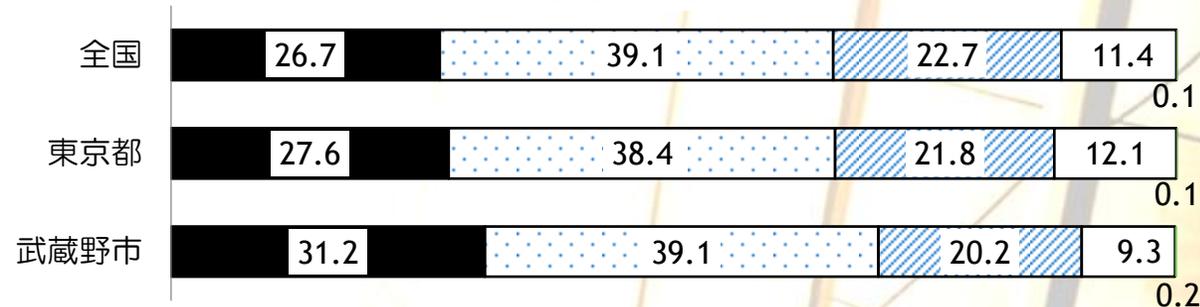
「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」 単位＝%

( ■ 当てはまる □ どちらかといえば当てはまる ▨ どちらかといえば当てはまらない □ 当てはまらない ■ その他、無回答)

小学校第6学年



中学校第3学年



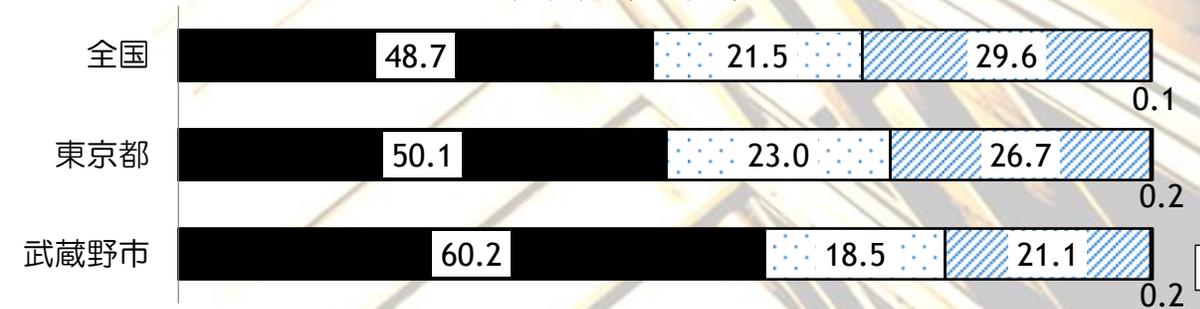
「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」 単位＝%

( ■ 参加したことがある □ 参加したことがない ▨ 分からない □ その他、無回答)

小学校第6学年



中学校第3学年



# 1. 武蔵野市民科の必要性

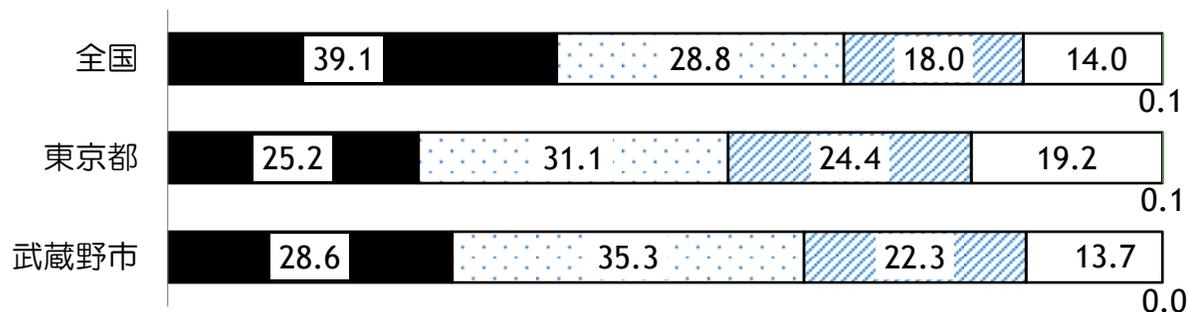
「平成28年度全国学力・学習状況調査」の結果より

## (3) ④市民性に関する子どもの現状について

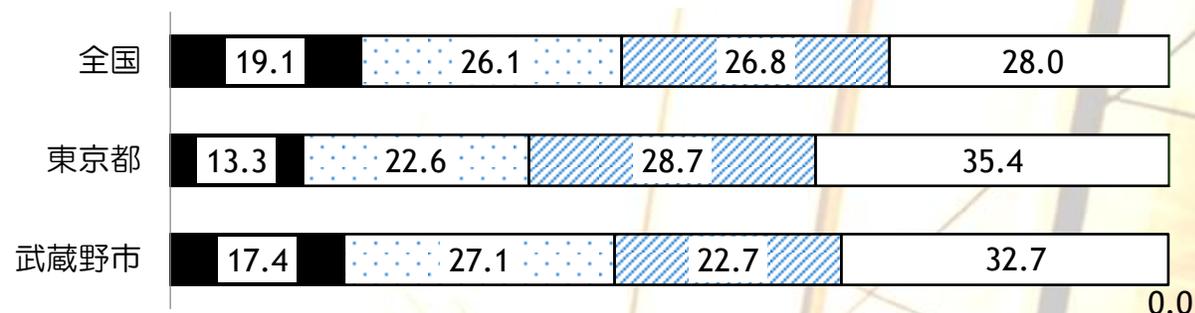
「今住んでいる地域の行事に参加していますか」 単位＝%

( ■ 当てはまる □ どちらかと言えば当てはまる ▨ どちらかといえば当てはまらない □ 当てはまらない ■ その他、無回答)

小学校第6学年



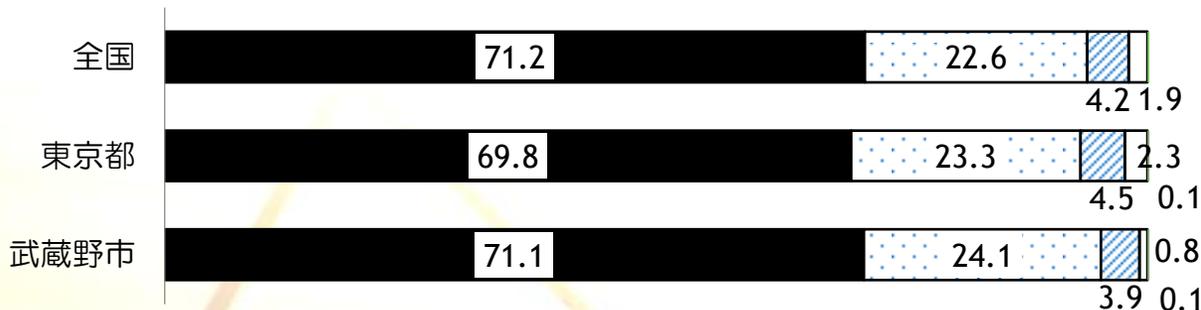
中学校第3学年



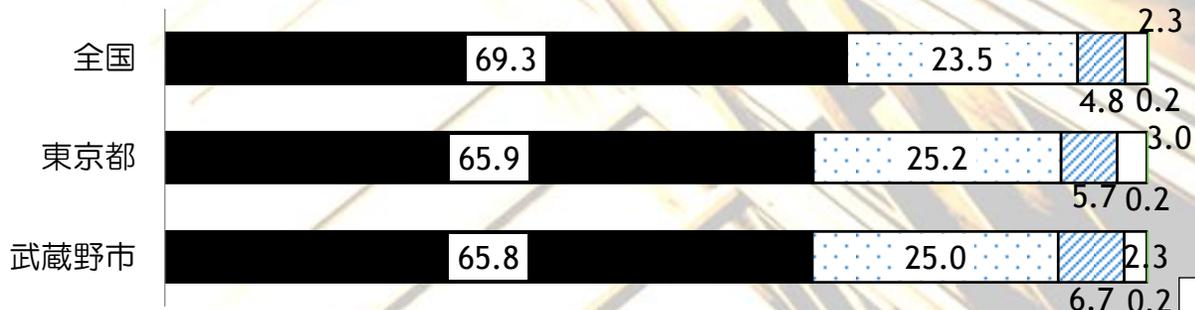
「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」 単位＝%

( ■ 当てはまる □ どちらかと言えば当てはまる ▨ どちらかといえば当てはまらない □ 当てはまらない ■ その他、無回答)

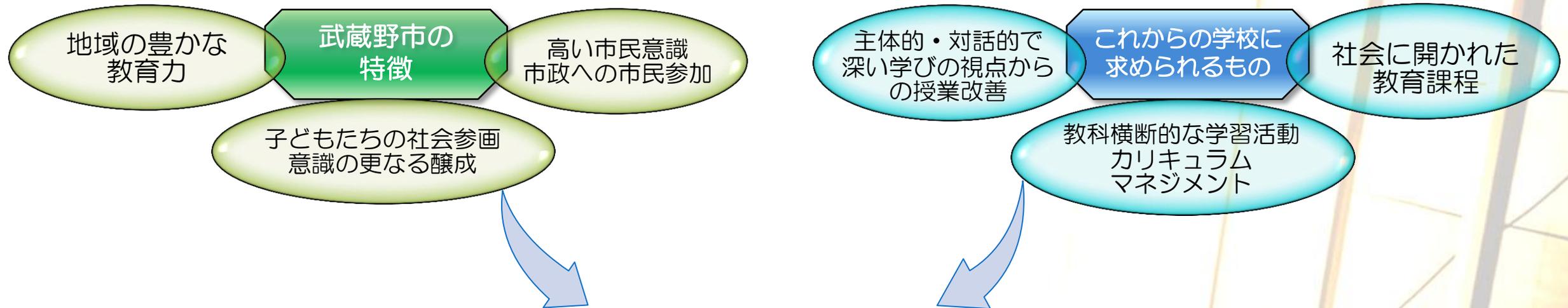
小学校第6学年



中学校第3学年



# 1. 武蔵野市民科の必要性



社会の変化や課題に対し、主体的に向き合い、他者と協働し、よりよい地域、社会、幸福な人生の創り手となる力を育成する

## ～武蔵野市民科～

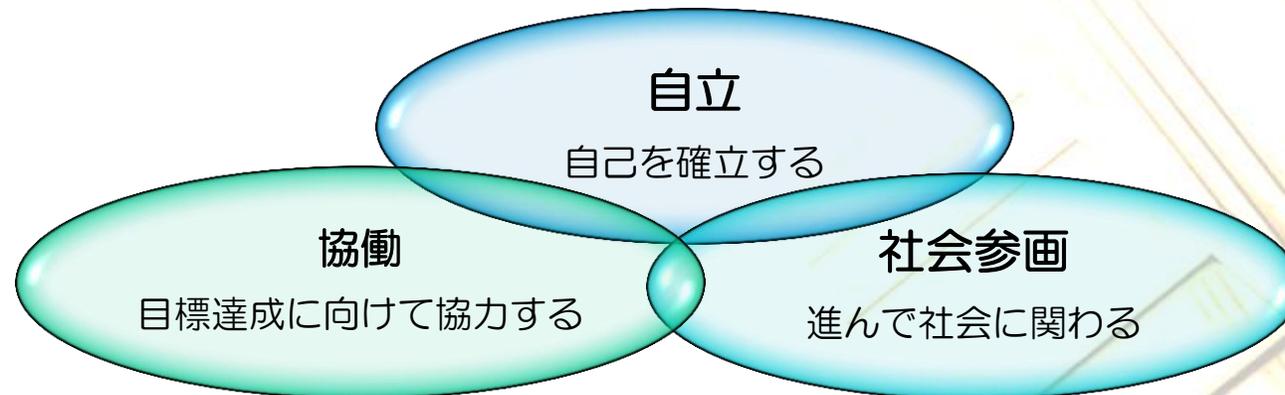
武蔵野市の様々な資源・取組を有機的に位置付け、教科横断的に展開する学習活動

## 2. 武蔵野市民科の目標

### (1) 武蔵野市民科の目標（案）

社会の変化や課題に対し、他者と協働し、主体的に取り組むことをとおして、よりよい地域、社会づくりに参画し、幸福な人生の創り手となるための資質・能力（市民性）を育てる。

#### <市民性を構成するキーワード>



## 2. 武蔵野市民科の目標

### (2) 武蔵野市民科で育みたい資質・能力（たたき台）

	自立 （自己を確立する）	協働 （目標達成に向けて協力する）	社会参画 （進んで社会に関わる）
生きて働く 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 主権者としての個の確立に向けた自己理解</li><li>・ 情報モラルをはじめとした情報活用能力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自他の相互理解</li><li>・ 目標の達成に向けた相互協力のためのコミュニケーション能力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域についての理解</li><li>・ 社会的課題などの公民的な知識・技能</li><li>・ 学校教育と生涯学習事業の連携の意義</li></ul>
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 批判的思考力（クリティカルシンキング）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ よりよい地域・社会づくりのための課題発見・解決能力</li><li>・ 課題解決に向けた人間関係調整力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ よりよい地域・社会づくりのための活動や計画に関する意思決定力、合意形成力</li></ul>
学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力と人間性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自己を高める規範意識や責任感、協調性</li><li>・ 自尊感情、自己有用感</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 集団活動の向上</li><li>・ 集団におけるリーダーシップ、フォロワーシップの在り方</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ よりよい地域・社会づくりに向けた公共心や社会連帯精神</li></ul>

### 3. 武蔵野市民科の方向性

#### (1) 教育課程上の位置付けと学習の進め方（素案）

- 武蔵野市民科は、「市民性」を「自立」「協働」「社会参画」の3つの視点から総合的に育成する。
- 武蔵野市民科は、総合的な学習の時間、道徳科、特別活動等の学習内容を教科等横断的な視点で単元を構成する。
- 単元計画を構成、実施するに当たっては、児童・生徒の日常生活や武蔵野市の社会や文化、歴史の中から課題を発見・解決するなど、問題解決的な学習を積極的に取り入れる。
- 実施学年は、小学校第5学年から中学校第1学年までを想定する。
- 発達段階や児童・生徒の実態に合わせ、重点とする視点、学校行事との関連、上下学年との系統性、家庭・地域との連携などに留意する。

# 3. 武蔵野市民科の方向性

## (2) 教育課程上の位置付けと学習の進め方（例）

中学校第1学年

＜ 単元名 ＞ 私たちがつくる武蔵野市（全11時間）

＜ 単元のねらい ＞ セカンドスクールで学んだことを生かし、武蔵野市の環境や人について調べ、発表することで、市の特徴をつかむとともに、社会における自分の生き方を考えることができる。

＜ キーワード ＞ 協働【調べ学習、役割の自覚、発表】

教科・領域等	総合的な学習の時間	時間数	8時間
ねらい	・セカンドスクールで体験したことを生かし、武蔵野市の環境や取組などから、本市のよさや課題を発見することとおして、よりよい社会をつくるにはどのような取組が考えられるか話し合い、発表をすることができる。		
学習材	・プレゼンテーションソフト ・武蔵野市役所 ・武蔵野プレイスやムーブスなど市の施設や事業		



教科・領域等	道徳科	時間数	1時間
内容項目	【郷土の伝統と文化の尊重,郷土を愛する態度】		
ねらい	地域社会の発展のために尽くした先人の取組をとおして、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。		
学習材	・「ふるさとの発展のために」私たちの道徳（文部科学省） ・むさしのばやし ・武蔵野ふるさと歴史館		



教科・領域等	学級活動（3）ア	時間数	2時間
ねらい	地域の職業人から体験談を聞き、学ぶことや働くことの楽しさや価値を知り、社会における自身の生き方について考えることができる。		
主な活動	「働く人の話を聞く会」で市内で働く人から自身の体験や働くことの楽しさ、やりがいなどを話していただき、これから社会の一員として、自分がどのようにかかわっていきたいか考え、学習や生活等の目標を設定する。		



第2学年の職場体験へつなげていく

# 3. 武蔵野市民科の方向性

## (3) 小中一貫教育との関連

### 武蔵野市における「徳」の目標＝市民性を含めた社会性の向上

社会性＝集団の一員として自分の役割や責任を果たす態度、多様性の尊重と協力、諸問題の解決に向けた思考・判断など

第3ステージ（中学校第2学年～第3学年）  
社会的自立の促進「キャリア教育・主権者教育等の充実」

第2ステージ（小学校第5学年～中学校第1学年）  
社会性の中核となる市民性の向上  
＜市民性を高めるための3つのキーワード＞

「自立」  
自己を確立する

「協働」  
目標達成に向けて協力する

「社会参画」  
進んで社会に関わる

第1ステージ（小学校第1学年～第4学年）  
社会性の基盤となる道徳性の育成や地域との交流「『武蔵野市のいま・むかし』活用」